

数直線上で座標が整数である点を移動する点 P がある。時刻  $n = 0, 1, 2, \dots$  での点 P の位置は次の規則に従うとする。

- (i) 時刻 0 での点 P の座標は 0 である。
- (ii) 時刻  $n$  での点 P の座標  $x$  が偶数であるとき、時刻  $n+1$  での点 P の座標は確率  $\frac{2}{3}$  で  $x+1$  となり、確率  $\frac{1}{3}$  で  $x$  のままである。
- (iii) 時刻  $n$  での点 P の座標  $x$  が奇数であるとき、時刻  $n+1$  での点 P の座標は確率  $\frac{7}{8}$  で  $x+1$  となり、確率  $\frac{1}{8}$  で  $x-1$  となる。

自然数  $n$  に対し、時刻  $n$  での点 P の座標が 0 である確率を  $p_n$  とし、座標が 1 である確率を  $q_n$  とする。また、時刻  $n$  での点 P の座標が奇数である確率を  $r_n$  とする。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1)  $p_1, p_2$  を求めよ。
- (2)  $r_n$  を求めよ。
- (3)  $p_{n+2}$  を  $p_{n+1}$  と  $p_n$  を用いて表せ。
- (4) 実数  $\alpha, \beta$  はすべての自然数  $n$  に対して

$$p_{n+2} - \alpha p_{n+1} = \beta(p_{n+1} - \alpha p_n)$$

を満たす。このような  $\alpha, \beta$  の組  $(\alpha, \beta)$  を 2 組求めよ。

- (5)  $p_n, q_n$  を求めよ。

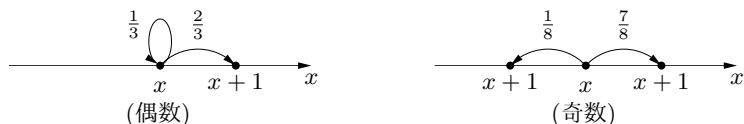
(23 電気通信大 後 4)

【答】

- (1)  $p_1 = \frac{1}{3}, p_2 = \frac{7}{36}$
- (2)  $r_n = \frac{2}{5} \left\{ 1 - \left(-\frac{2}{3}\right)^n \right\}$
- (3)  $p_{n+2} = \frac{1}{3}p_{n+1} + \frac{1}{12}p_n$
- (4)  $(\alpha, \beta) = \left(-\frac{1}{6}, \frac{1}{2}\right), \left(\frac{1}{2}, -\frac{11}{6}\right)$
- (5)  $p_n =, q_n =$

【解答】

点 P の座標は次のように変化する。



- (1)  $p_1$  は時刻 1 での点 P の座標が 0 である確率であり、このときの P の移動は

$$0 \rightarrow 0$$

であるから

$$p_1 = \frac{1}{3}$$

……(答)

である。時刻 2 での点 P の座標が 0 であるのは

$$0 \rightarrow 0 \rightarrow 0 \quad \text{または} \quad 0 \rightarrow 1 \rightarrow 0$$

の2通りの移動がある。よって

$$p_2 = \left(\frac{1}{3}\right)^2 + \frac{2}{3} \cdot \frac{1}{8} = \frac{4+3}{3^2 \cdot 4} = \frac{7}{36} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- (2)  $r_n$  は時刻  $n$  での点 P の座標が奇数である確率であり、時刻  $n+1$  での P の座標が奇数であるのは、時刻  $n$  での座標  $x$  が偶数で、次に確率  $\frac{2}{3}$  で  $x+1$  に移る場合であるから

$$r_{n+1} = (1-r_n) \cdot \frac{2}{3} \quad (n=1, 2, \dots)$$

が成り立つ。これは

$$r_{n+1} - \frac{2}{5} = -\frac{2}{3} \left(r_n - \frac{2}{5}\right)$$

と変形される。 $r_1 = \frac{2}{3}$  であり、数列  $\left\{r_n - \frac{2}{5}\right\}$  は初項  $r_1 - \frac{2}{5} = \frac{2}{3} - \frac{2}{5} = \frac{4}{15}$ 、公比  $-\frac{2}{3}$  の等比数列である。よって

$$\begin{aligned} r_n - \frac{2}{5} &= \frac{4}{15} \left(-\frac{2}{3}\right)^{n-1} = -\frac{2}{5} \left(-\frac{2}{3}\right)^n \\ \therefore r_n &= \frac{2}{5} \left\{1 - \left(-\frac{2}{3}\right)^n\right\} \end{aligned} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- (3) 時刻  $n+2$  での P の座標が 0 であるのは、次の2つの場合がある。

- (i) 時刻  $n+1$  での座標が 0 で、次に確率  $\frac{1}{3}$  で 0 のままである。  
(ii) 時刻  $n+1$  での座標が 1 で、次に確率  $\frac{1}{8}$  で 0 に移動する。

これらは排反であるから

$$p_{n+2} = \frac{1}{3}p_{n+1} + \frac{1}{8}q_{n+1} \quad (n=1, 2, \dots) \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

ここで、時刻  $n+1$  での P の座標が 1 であるのは、時刻  $n$  での座標が 0 で、次に確率  $\frac{2}{3}$  で 1 に移る場合であるから

$$q_{n+1} = \frac{2}{3}p_n \quad (n=1, 2, \dots) \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

①, ②より

$$\begin{aligned} p_{n+2} &= \frac{1}{3}p_{n+1} + \frac{1}{8} \cdot \frac{2}{3}p_n \\ &= \frac{1}{3}p_{n+1} + \frac{1}{12}p_n \quad (n=1, 2, \dots) \end{aligned} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- (4)  $p_{n+2} - \alpha p_{n+1} = \beta(p_{n+1} - \alpha p_n)$  を展開すると

$$p_{n+2} = (\alpha + \beta)p_{n+1} - \alpha\beta p_n$$

となる。これと (3) の結果より

$$\begin{cases} \alpha + \beta = \frac{1}{3} \\ \alpha\beta = -\frac{1}{12} \end{cases}$$

であり、 $\alpha, \beta$  は2次方程式

$$x^2 - \frac{1}{3}x - \frac{1}{12} = 0$$

の解である。これを解くと

$$\left(x - \frac{1}{2}\right)\left(x + \frac{1}{6}\right) = 0 \quad \therefore x = \frac{1}{2}, -\frac{1}{6}$$

よって

$$(\alpha, \beta) = \left(\frac{1}{2}, -\frac{1}{6}\right), \left(-\frac{1}{6}, \frac{1}{2}\right) \quad \dots\dots(\text{答})$$

である.

(5) (4) より, (3) の漸化式は次のように変形できる.

$$p_{n+2} - \frac{1}{2}p_{n+1} = -\frac{1}{6}\left(p_{n+1} - \frac{1}{2}p_n\right) \quad \dots\dots \textcircled{3}$$

$$p_{n+2} + \frac{1}{6}p_{n+1} = \frac{1}{2}\left(p_{n+1} + \frac{1}{6}p_n\right) \quad \dots\dots \textcircled{4}$$

③より, 数列  $\left\{p_{n+1} - \frac{1}{2}p_n\right\}$  は初項  $p_2 - \frac{1}{2}p_1 = \frac{7}{36} - \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{3} = \frac{1}{36}$ , 公比  $-\frac{1}{6}$  の等比数列であるから

$$p_{n+1} - \frac{1}{2}p_n = \frac{1}{36}\left(-\frac{1}{6}\right)^{n-1} = \left(-\frac{1}{6}\right)^{n+1} \quad (n=1, 2, \dots) \quad \dots\dots \textcircled{3}'$$

となる. ④より, 数列  $\left\{p_{n+1} + \frac{1}{6}p_n\right\}$  は初項  $p_2 + \frac{1}{6}p_1 = \frac{7}{36} + \frac{1}{6} \cdot \frac{1}{3} = \frac{1}{4}$ , 公比  $\frac{1}{2}$  の等比数列であるから

$$p_{n+1} + \frac{1}{6}p_n = \frac{1}{4}\left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} = \left(\frac{1}{2}\right)^{n+1} \quad (n=1, 2, \dots) \quad \dots\dots \textcircled{4}'$$

となる. ④' - ③' より

$$\begin{aligned} \left(\frac{1}{6} + \frac{1}{2}\right)p_n &= \left(\frac{1}{2}\right)^{n+1} - \left(-\frac{1}{6}\right)^{n+1} \\ \therefore p_n &= \frac{3}{2}\left\{\left(\frac{1}{2}\right)^{n+1} - \left(-\frac{1}{6}\right)^{n+1}\right\} \quad (n=1, 2, \dots) \quad \dots\dots(\text{答}) \end{aligned}$$

である. また, ②より,  $n \geq 2$  に対して

$$q_n = \frac{2}{3}p_{n-1} = \frac{2}{3} \cdot \frac{3}{2}\left\{\left(\frac{1}{2}\right)^n - \left(-\frac{1}{6}\right)^n\right\} = \left(\frac{1}{2}\right)^n - \left(-\frac{1}{6}\right)^n$$

である.  $q_1 = \frac{2}{3}$  であるから, これは  $n=1$  でも成り立つ. よって

$$q_n = \left(\frac{1}{2}\right)^n - \left(-\frac{1}{6}\right)^n \quad (n=1, 2, \dots) \quad \dots\dots(\text{答})$$

である.